

パブリックコメントを踏まえた治水対策案の追加

国土交通省 近畿地方整備局

◆パブリックコメントにおいて、3件の具体的なご提案があり、以下のとおり治水対策案の検討を行った。

【パブリックコメントにおける具体的な治水対策案①】

- 環境面も考慮すると治水対策案Ⅱ－2(新規遊水地)案が良い。



- 治水対策案Ⅱ－2(遊水地(新規遊水地(大戸川沿川))+河道の掘削)については、概略評価においてコストの観点より棄却したが、ご意見を踏まえ抽出することとする。

【治水対策案(追加)】

- 治水対策案Ⅱ－2 遊水地(新規遊水地(大戸川沿川))+河道の掘削)

【パブリックコメントにおける具体的な治水対策案②】

- 現瀬田川洗堰を大戸川瀬田川合流点より下流に移設改築する。新堰建設により、大戸川ダムは不要、天ヶ瀬ダムの予備放流も不要、天ヶ瀬ダム残流域の流量調節は天ヶ瀬ダムのサーチャージ容量1,000万m³により行う。



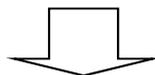
- 大戸川の瀬田川合流点より下流に、現瀬田川洗堰の位置を変更。
- 本堰の全閉高さは琵琶湖水位1.4mとし、洪水調節のための流量調節は0～1,500m³/sとする。
- 琵琶湖水位1.4mに伴って必要となる築堤および事前放流(大戸川流入に伴う琵琶湖水位上昇分)に必要な河道掘削を実施。
- 大戸川については目標流量を流下させるために必要な対策として、安価である河道掘削を組み合わせる。

【治水対策案(追加)】

- 治水対策案Ⅱ－3 瀬田川新堰+河道の掘削

【パブリックコメントにおける具体的な治水対策案③】

- 淀川については、活用可能な利水容量の活用で流量カットを図り、目標流量に対して不足し計画高水位を超える区間については、感潮区間の堤防並のコンクリート堤防で堤防強化することで対応する。大戸川については河道の掘削で対応する。



- 活用可能な利水容量(日吉ダム、高山ダム、青蓮寺ダム、比奈知ダム)を活用。
- 計画高水位を超える区間についてはコンクリート堤防による堤防強化で対応することについては、技術的に手法が確立されていないため適用することは困難。
- そのため、淀川本川の目標流量に対して不足し計画高水位を超える区間については、堤防かさ上げを実施する。
- 大戸川については、河道の掘削を組み合わせで立案する。

【治水対策案(追加)】

- 治水対策案Ⅲ-4 利水容量買い上げ(日吉、高山、青蓮寺、比奈知)+河道の掘削+堤防のかさ上げ

治水対策案Ⅱ-2：遊水地（新規遊水地（大戸川沿川））+河道の掘削

■治水対策案の概要

- ・大戸川沿川の貯留可能な土地（田畑）に新規遊水地を設置し、河道のピーク流量を低減させる。
- ・淀川本川では大戸川ダムによる洪水調節量400m³/sの代替として新規遊水地により河道のピーク流量を低減させ、これによる治水効果が不足する分については河道の掘削を実施し、河道内の流下断面を拡大させて河川水位の低下を図る。
- ・大戸川では大戸川ダムによる洪水調節量300m³/sの代替として新規遊水地により河道のピーク流量を低減させ、流下能力が不足する区間において堤防をかさ上げすることにより所要の流量を流下させる。
- ・本治水対策案の実施に伴い、淀川本川区間では、4橋の橋脚補強が必要となる。また、大戸川県管理区間では60戸の家屋移転、7橋の架替が必要となる。

※ 治水対策案の立案にあたっては、関係機関や地権者等の関係者との事前協議や調整は行っていない。
 ※ 対策箇所や数量については現時点のものであり、今後変更があり得るものである。

【治水対策】

■新規遊水地（大戸川沿川）

掘削	5,160千m ³
掘削深	1.1~3.9m
用地買収	2.183km ²
移転家屋	49戸

■河道の改修

(淀川)		(大戸川)	
掘削	570千m ³	築堤	5.4km
橋脚補強	4橋	橋梁架替	7橋
		用地買収	0.040km ²
		移転家屋	11戸

【河川整備計画】

■河道改修

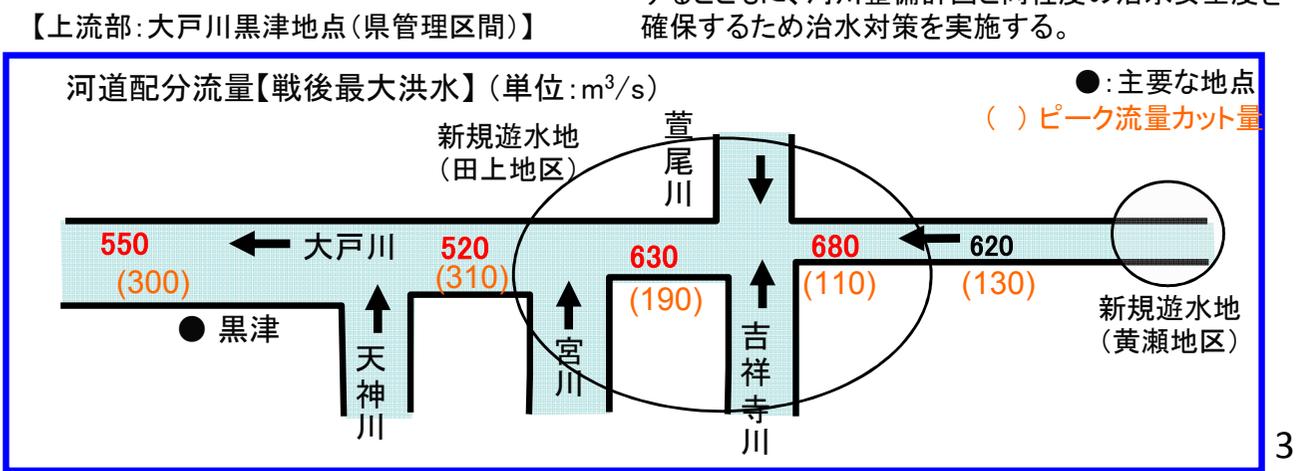
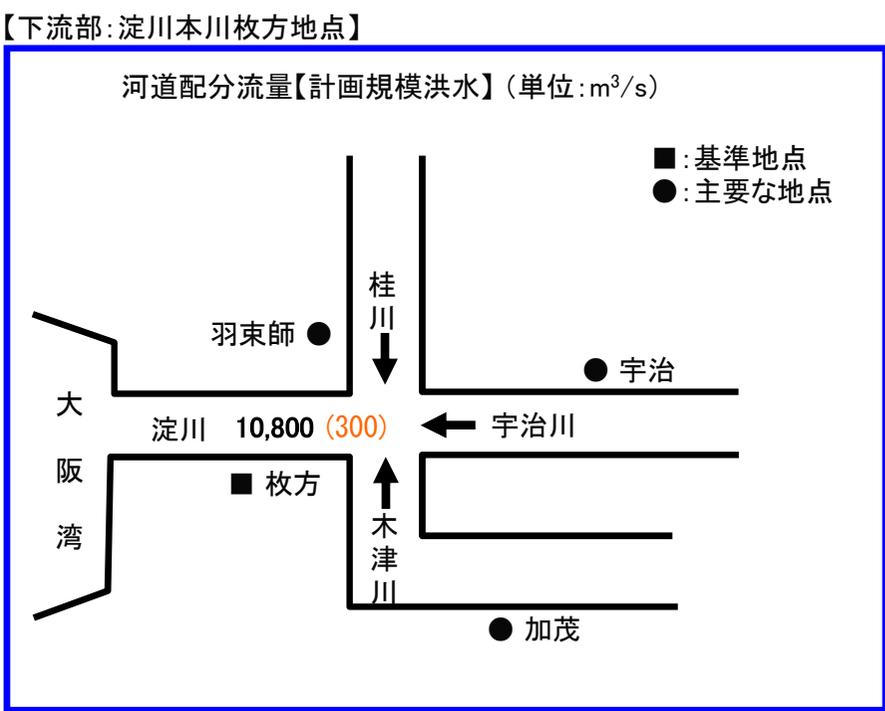
(宇治川、桂川、木津川)		(大戸川)	
掘削	V=5,090千m ³	掘削	V=50千m ³
築堤	L=8.3km	築堤	L=1.7km

■天ヶ瀬ダム再開発
■阪神なんば線淀川橋梁架替
■上野遊水地
■川上ダム

【ピーク流量カット量】

■枚方地点
 遊水地 : 約300m³/s

■黒津地点
 遊水地 : 約300m³/s

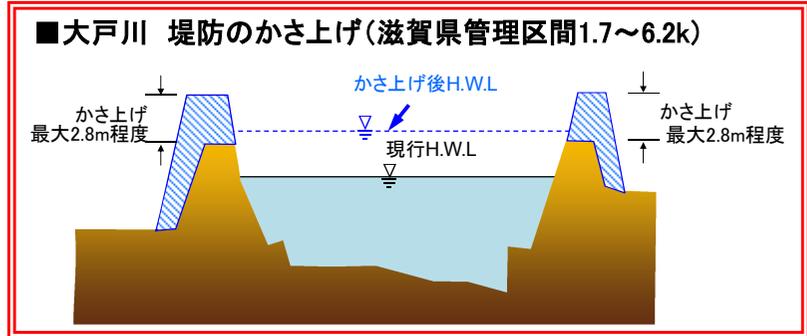


※ 河川整備計画に盛り込まれている河道改修等を実施するとともに、河川整備計画と同程度の治水安全度を確保するため治水対策を実施する。

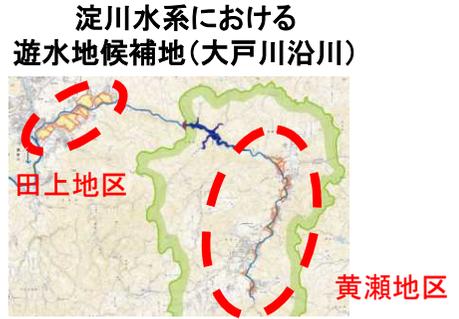
治水対策案II-2：遊水地（新規遊水地（大戸川沿川））+河道の掘削

淀川は3.8km、大戸川は7.5kmにわたりH.W.Lを超過するため、大戸川沿川の田上地区および黄瀬地区の新規遊水地により洪水流量を調節するとともに、大戸川の吉祥寺川合流点から上流においては $310\text{m}^3/\text{s}$ 増となるよう堤防のかさ上げを行う。淀川本川では約 $100\text{m}^3/\text{s}$ 増となるよう河道を掘削を行う。

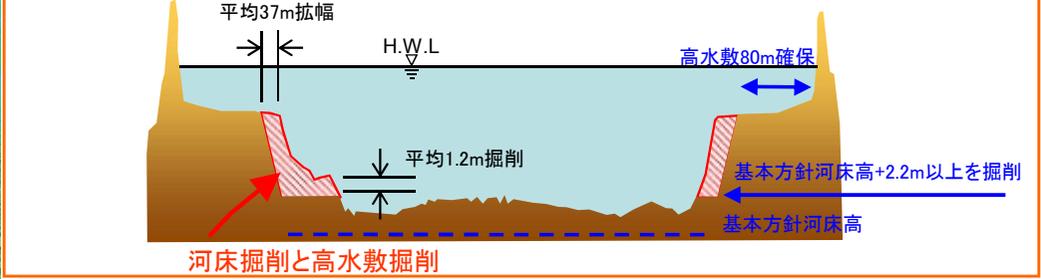
堤防のかさ上げ(大戸川 滋賀県管理区間)



遊水地(新規遊水地(大戸川沿川))



淀川 河道の掘削(4.0k~9.8k)



掘削(淀川:河床・高水敷)

【整備計画メニュー】

- 築堤、引堤
- 堤防強化
- 河道掘削、改修
- 河道の掘削・堤防のかさ上げ
- 新規遊水地

【各方策の実施箇所】

※ ここに示す治水対策案は、河川整備計画において想定している目標と同程度の目標を達成するために、大戸川ダムに代替する効果を有する方策の組み合わせの案を検討することを基本としたものである。
 ※ 現時点でのものであり、今後、変更があり得るものである。

治水対策案Ⅱ-3：瀬田川新堰+河道の掘削

■治水対策案の概要

- ・淀川本川では大戸川ダムによる洪水調節量400m³/sの代替として瀬田川洗堰を大戸川合流点下流に移設し、洗堰下流の河道のピーク流量を低減させる。
- ・大戸川では大戸川ダムによる洪水調節量300m³/sの代替として河道の掘削を実施し、河道内の流下断面を拡大させて河川水位の低下を図る。
- ・本治水対策案の実施に伴い、瀬田川洗堰の移設により18戸の移転家屋、1橋の架替、4基の樋門改築が必要となる。また、大戸川県管理区間では7橋の架替、4橋の橋脚補強、5基の堰改築が必要となる。

※ 治水対策案の立案にあたっては、関係機関や地権者等の関係者との事前協議や調整は行っていない。
 ※ 対策箇所や数量については現時点のものであり、今後変更があり得るものである。

【治水対策】

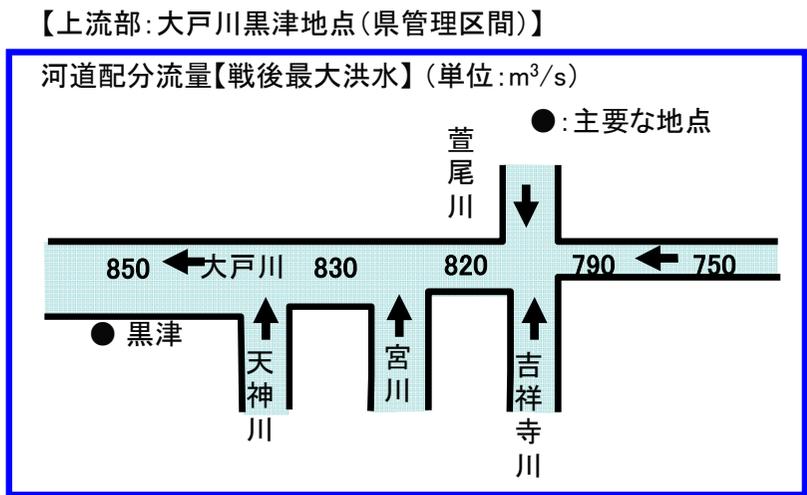
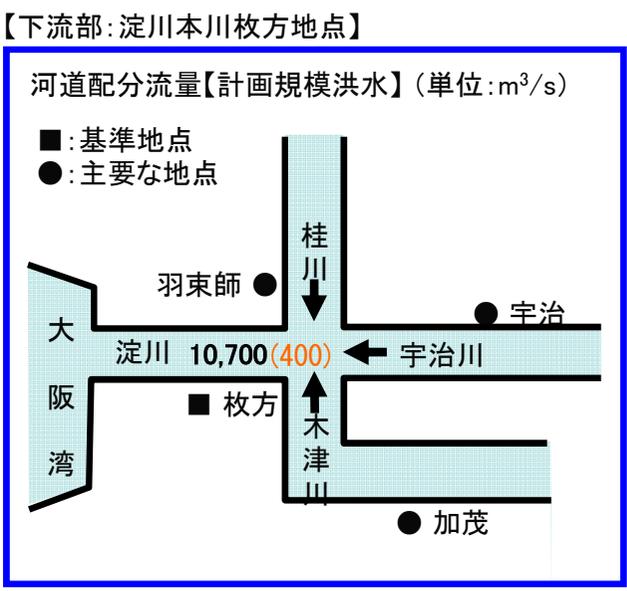
■河道の掘削 (大戸川)		■瀬田川新堰	
掘削	760千m ³	掘削	50千m ³
橋梁架替	7橋	築堤	2.9km
橋脚補強	4橋	橋梁架替	1橋
堰改築	5基	堰移設	1基
用地買収	0.009km ²	樋門改築	4基
		用地買収	0.015km ²
		移転家屋	18戸

【河川整備計画】

■河道改修 (宇治川、桂川、木津川)		(大戸川)	
掘削	V=5,090千m ³	掘削	V=50千m ³
築堤	L=8.3km	築堤	L=1.7km

■天ヶ瀬ダム再開発
 ■阪神なんば線淀川橋梁架替 ■上野遊水地
 ■川上ダム

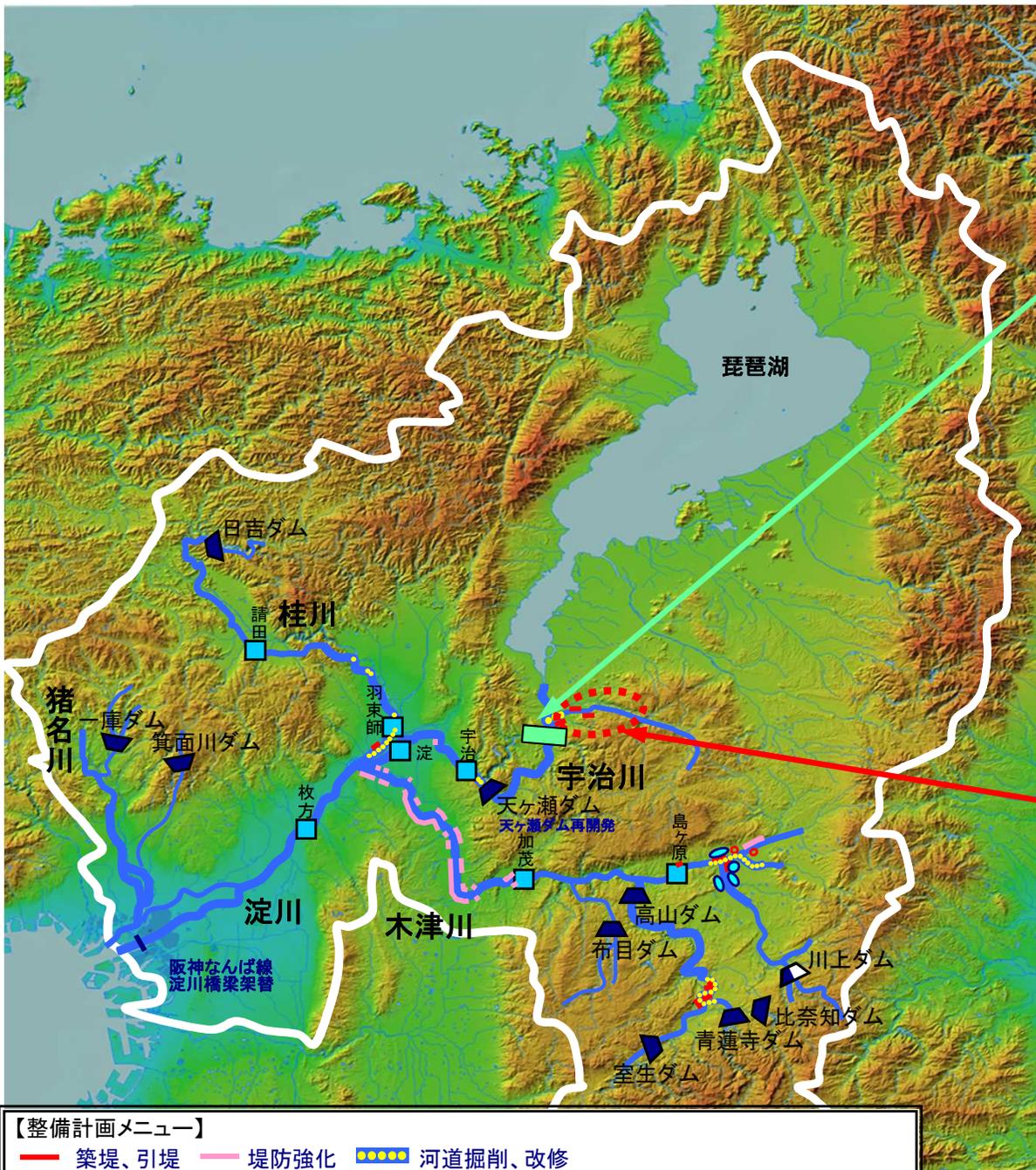
【ピーク流量カット量】
 ■枚方地点
 瀬田川洗堰の有効活用：約400m³/s



※ 河川整備計画に盛り込まれている河道改修等を実施するとともに、河川整備計画と同程度の治水安全度を確保するため治水対策を実施する。

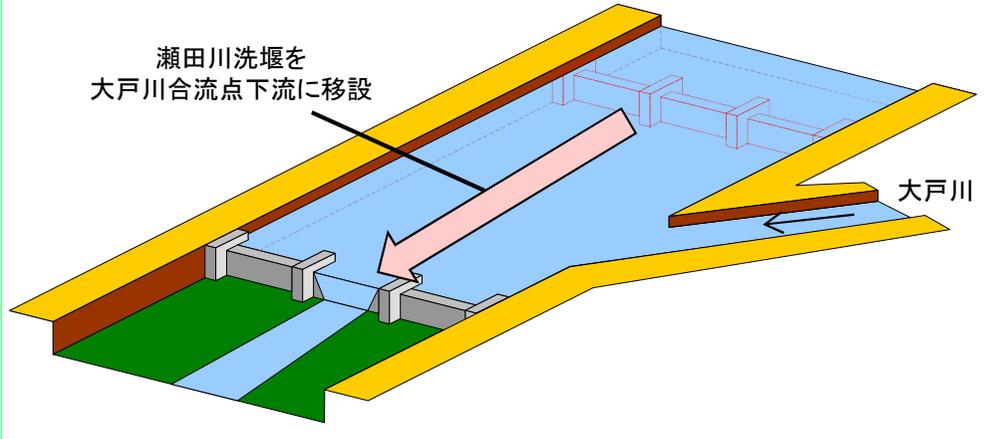
治水対策案Ⅱ-3：瀬田川新堰+河道の掘削

淀川は3.8km、大戸川は7.5kmにわたりH.W.Lを超過するため、瀬田川洗堰を大戸川合流点下流に移設することにより、淀川への洪水流量を調節し、大戸川で約300m³/s増となるよう河道を掘削する。



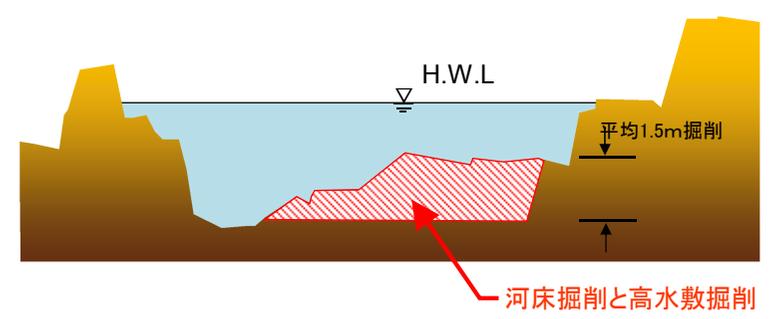
瀬田川洗堰の移設

■瀬田川洗堰の移設イメージ



掘削(大戸川 滋賀県管理区間:河床・高水敷)

■大戸川 河道の掘削(滋賀県管理区間 0.2k~6.2k)



【整備計画メニュー】

- 築堤、引堤
- 堤防強化
- 河道掘削、改修

【各方策の実施箇所】

- 河道の掘削
- 新堰

治水対策案Ⅲ-4：利水容量買い上げ（日吉、高山、青蓮寺、比奈知）＋河道の掘削＋堤防のかさ上げ

■治水対策案の概要

- ・淀川本川では大戸川ダムによる洪水調節量400m³/sの代替として既設ダム（日吉、高山、青蓮寺、比奈知）の活用可能な利水容量を治水に転用し、河道のピーク流量を低減させる。これにより流下能力が不足する区間においては堤防をかさ上げすることにより所要の流量を流下させる。
- ・大戸川では大戸川ダムによる洪水調節量300m³/sの代替として河道の掘削を実施し、河道内の流下断面を拡大させて河川水位の低下を図る。
- ・本治水対策案の実施に伴い、淀川本川区間では33戸の家屋移転、4橋の架替、1基の堰改築が必要となる。また、大戸川県管理区間では7橋の架替、4橋の橋脚補強、5基の堰改築が必要となる。

※ 既存ダムの活用可能な利水容量については、利水者への意見照会の結果、対策案検討において活用することが可能であった水量に相当する、日吉ダム、高山ダム、青蓮寺ダム、比奈知ダム、それぞれの容量を対象とする。

※ 治水対策案の立案にあたっては、関係機関や地権者等の関係者との事前協議や調整は行っていない。

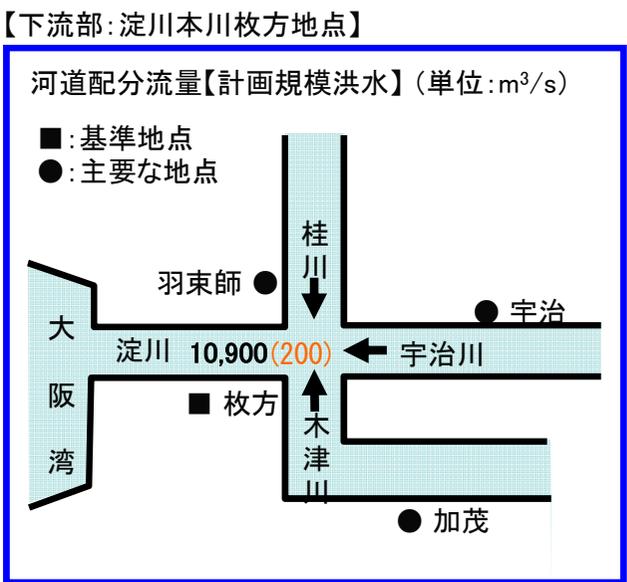
※ 対策箇所や数量については現時点のものであり、今後変更があり得るものである。

【治水対策】

■堤防のかさ上げ (淀川)		■ダムの有効活用 (利水容量買い上げ)	
築堤	0.9km	日吉ダム	320万m ³ の転用
橋梁架替	4橋	高山ダム	760万m ³ の転用
堰改築	1基	青蓮寺ダム	670万m ³ の転用
用地買収	0.001km ²	比奈知ダム	140万m ³ の転用
移転家屋	33戸		
■河道の掘削 (大戸川)			
掘削	760千m ³		
橋梁架替	7橋		
橋脚補強	4橋		
堰改築	5基		
用地買収	0.009km ²		

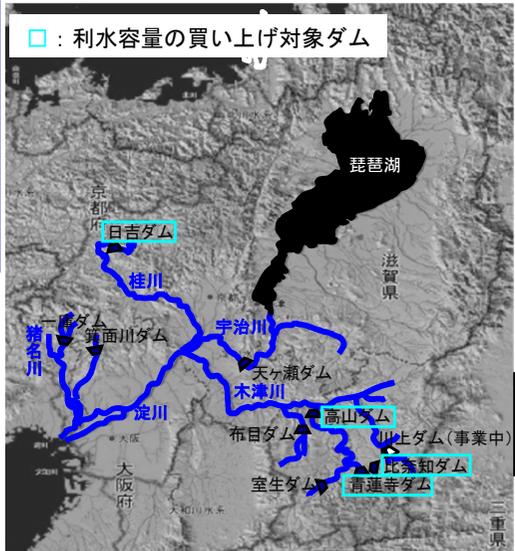
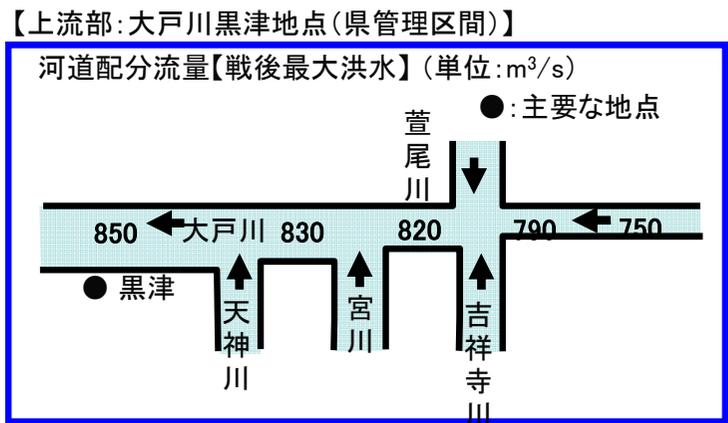
【河川整備計画】

■河道改修 (宇治川、桂川、木津川)		(大戸川)	
掘削	V=4,670千m ³	掘削	V=50千m ³
築堤	L=8.3km	築堤	L=1.7km
■天ヶ瀬ダム再開発		■上野遊水地	
■阪神なんば線淀川橋梁架替		■川上ダム	



【ピーク流量カット量】

■ 枚方地点
ダム有効活用：約200m³/s



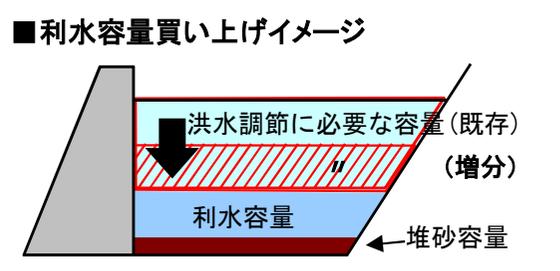
※ 河川整備計画に盛り込まれている河道改修等を実施するとともに、河川整備計画と同程度の治水安全度を確保するため治水対策を実施する。

【凡例】

■: 既設ダム
▲: 事業中ダム

治水対策案Ⅲ-4：利水容量買い上げ（日吉、高山、青蓮寺、比奈知）＋河道の掘削＋堤防のかさ上げ

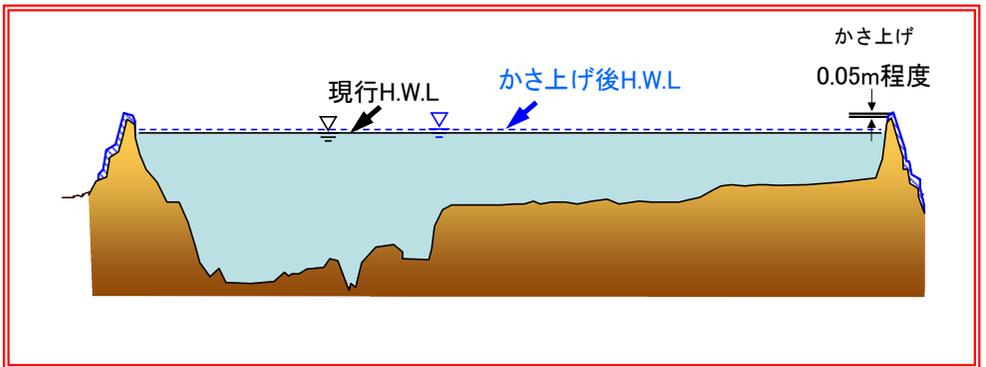
ダムの有効活用(利水容量買い上げ)・4ダム



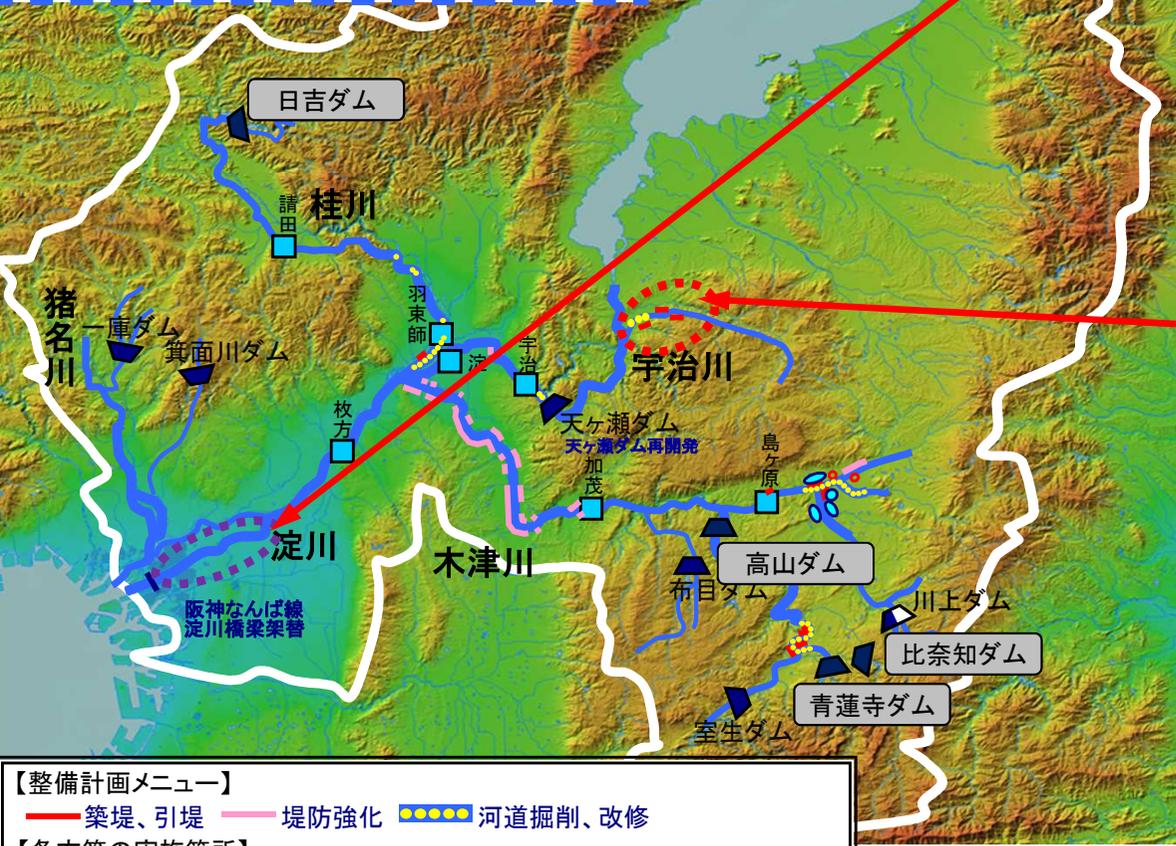
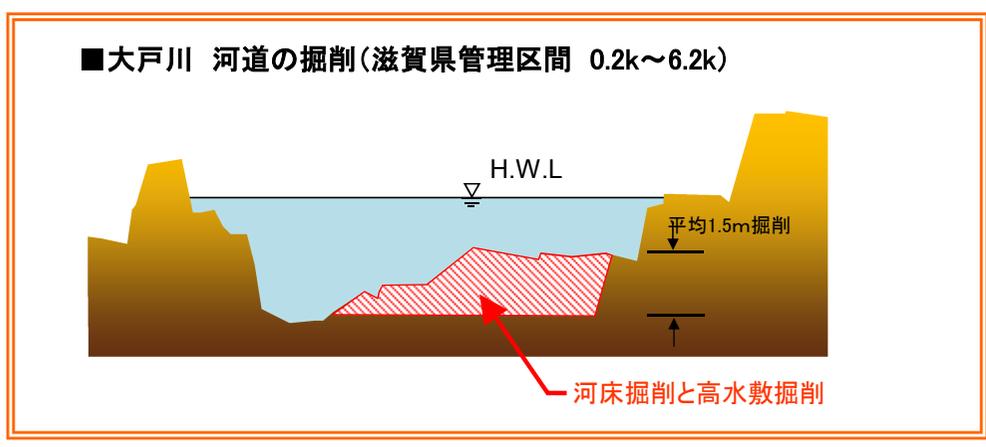
利水容量については、不特定等との共同容量で成り立っているため、不特定に支障がない範囲でしか治水に転用できない場合がある。
なお、利水容量の買い上げに要する費用は、利水者との合意が必要のため未定である。

淀川は3.8km、大戸川は7.5kmにわたりH.W.L.を超過するため、4つの既設ダムの利水容量買い上げにより洪水流量を調節し、淀川本川で約200m³/s増となるよう堤防を嵩上げし、大戸川で約300m³/s増となるよう河道を掘削する。

堤防のかさ上げ(淀川)



掘削(大戸川 滋賀県管理区間:河床・高水敷)



- 【整備計画メニュー】
- 築堤、引堤
 - 堤防強化
 - 河道掘削、改修
- 【各方策の実施箇所】
- 河道の掘削
 - 堤防のかさ上げ
 - ▲ ダムの有効活用

概略評価による治水対策案抽出（案）

治水対策案(実施内容)		概略評価による抽出			
		概算事業費(億円)	判定	不適当と考えられる評価軸とその内容	
現行計画	大戸川ダム	約 3,500			
グループⅠ： 河道改修を中心とした対策案	1 河道の掘削 全区間(2区間)	約4,500	○		
	2 引堤 全区間(2区間)	約17,700	×	・コスト	・コストがⅠ-1案よりも高い。
	3 堤防のかさ上げ 全区間(2区間)	約5,300	×	・コスト	・コストがⅠ-1案よりも高い。
グループⅡ： 大規模治水施設による対策案	1 放水路(大戸川)+河道の掘削	約4,700	○		
	2 遊水地(新規遊水地(大戸川沿川))+河道の掘削	約4,900	○		
	3 瀬田川新堰+河道の掘削	約3,800	○		
グループⅢ： 既存ストックを活用した対策案	1 既設ダムかさ上げ(日吉、高山、室生、比奈知)+河道の掘削	約4,700	×	・コスト	・コストがⅢ-2、3案よりも高い。
	2 既設ダムかさ上げ(高山、比奈知)+河道の掘削	約4,300	○		
	3 利水容量買い上げ(日吉、高山、青蓮寺、比奈知)+河道の掘削	約3,900 +利水容量買い上げに要する費用	○		
	4 利水容量買い上げ(日吉、高山、青蓮寺、比奈知)+河道の掘削+堤防のかさ上げ	約5,300 +利水容量買い上げに要する費用	×	・コスト	・コストがⅢ-2、3案よりも高い。
グループⅣ： 流域を中心とした対策案	1 雨水貯留施設+雨水浸透施設+水田等の保全(機能向上)+河道の掘削+利水容量買い上げ(日吉、高山、青蓮寺、比奈知)	約6,100 +利水容量買い上げに要する費用	○		
	2 雨水貯留施設+雨水浸透施設+河道の掘削+利水容量買い上げ(日吉、高山、青蓮寺、比奈知)	約6,100 +利水容量買い上げに要する費用	○		

パブリックコメントの「意見を踏まえた治水対策案」

注) 表中の概算事業費は、表中の「治水対策案(実施内容)」+整備計画事業の概算コストを示したものである。
 ・対策箇所や事業費、数量については現時点のものであり、今後変更があり得るものである。
 ・ダム中止に伴って発生する費用は含まれない。
 ・建設発生土処理費用は、現状の処理場の受入可能量を超える土量が発生する場合においても、全量処分できるものとして算出している。

概略評価による治水対策案の抽出結果

治水対策案		追加 追加											
治水対策案	現行計画	I-1	I-2	I-3	II-1	II-2	II-3	III-1	III-2	III-3	III-4	IV-1	IV-2
河川整備計画	大戸川ダム												
	既設ダム洪水調節容量増強	既設ダム洪水調節容量増強	既設ダム洪水調節容量増強	既設ダム洪水調節容量増強	既設ダム洪水調節容量増強	既設ダム洪水調節容量増強	既設ダム洪水調節容量増強	既設ダム洪水調節容量増強	既設ダム洪水調節容量増強	既設ダム洪水調節容量増強	既設ダム洪水調節容量増強	既設ダム洪水調節容量増強	既設ダム洪水調節容量増強
	河道改修・貯留施設ほか	河道改修・貯留施設ほか	河道改修・貯留施設ほか	河道改修・貯留施設ほか	河道改修・貯留施設ほか	河道改修・貯留施設ほか	河道改修・貯留施設ほか	河道改修・貯留施設ほか	河道改修・貯留施設ほか	河道改修・貯留施設ほか	河道改修・貯留施設ほか	河道改修・貯留施設ほか	河道改修・貯留施設ほか
河川を中心とした対策		河道の掘削 (淀川本川)			河道の掘削 (淀川本川)	河道の掘削 (淀川本川)		河道の掘削 (淀川本川)	河道の掘削 (淀川本川)	河道の掘削 (淀川本川)		河道の掘削 (淀川本川)	河道の掘削 (淀川本川)
		河道の掘削 (大戸川区間)					河道の掘削 (大戸川区間)	河道の掘削 (大戸川区間)	河道の掘削 (大戸川区間)	河道の掘削 (大戸川区間)	河道の掘削 (大戸川区間)	河道の掘削 (大戸川区間)	河道の掘削 (大戸川区間)
			引堤										
				堤防のかさ上げ		放水路 (大戸川)	堤防のかさ上げ (大戸川区間)					堤防のかさ上げ (淀川本川)	
流域を中心とした対策						遊水地 (大戸川)							
							瀬田川新堰						
								ダムの有効活用 (4ダムかさ上げ)	ダムの有効活用 (2ダムかさ上げ)				
										ダムの有効活用 (利水容量買い上げ)	ダムの有効活用 (利水容量買い上げ)	ダムの有効活用 (利水容量買い上げ)	ダムの有効活用 (利水容量買い上げ)
											雨水貯留施設	雨水貯留施設	
											雨水浸透施設	雨水浸透施設	
											水田等の保全 (機能の向上)		

- ◆ 治水対策案の立案にあたっては、河川整備計画で目標としている洪水を計画高水位以下で流下させるよう、幅広い方を組合せて検討する。
- ◆ 「雨水貯留施設」、「雨水浸透施設」、「水田等の保全（機能の向上）」については、河道のピーク流量を低減させる効果を計画上位置付けて整備し、適切に維持管理を行うこととして、他の方策と組合せて検討する。

河道・流域管理の観点から推進を図る方策

排水機場、遊水機能を有する土地の保全、部分的に低い堤防の存置、霞堤の存置、輪中堤、二線堤、樹林帯等、宅地のかさ上げ・ピロティ建築等、土地利用規制、森林の保全、洪水の予測・情報の提供等の推進等※

※ ここに記載する各方策は、流出抑制や災害時の被害軽減等に資するものとして、河道・流域管理等の観点からその推進を図る努力を継続する。

抽出した治水対策案